

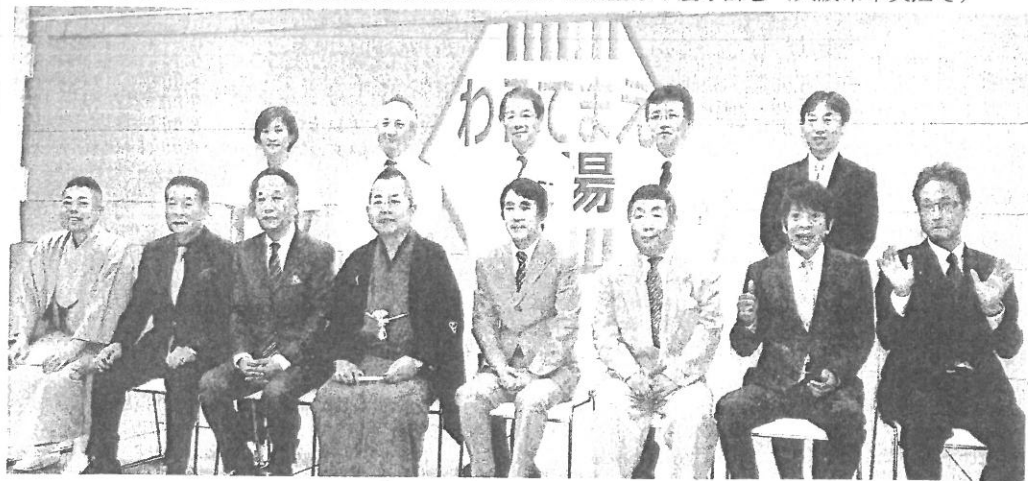


■ 笑いとがん、実験ライブ8回

大阪府立病院機構「大阪国際がんセンター」（大阪市中央区）は27日、笑いのがん患者らへの影響を調べる実験に協力する落語家やお笑い芸人18組を発表した。

センターによると、松竹芸能、米朝事務所、吉本興業の協力で、5～8月に院内ライブ「わろてまえ劇場」を8回開く。桂文枝さん、オール阪神・巨人、桂ざこばさん、桂小春団治さん、大木こだまひびき、桂文珍さんらが順次出演する。がん患者約70人とセンターの看護師や職員ら65人のストレスや免疫機能がライブを見る回数で違いがあるか調べる。

27日の会見に参加した出演者の桂文珍さん＝写真手前中央＝は、研究結果を論文として国際学術誌に投稿すると聞き、「笑っていただいたらこっちも元気になれる。笑いの研究者としてネイチャー誌に載りたい」と笑いを誘った。29.4.28A(株)23



「笑う門には」体にええかも

29.4.28 Y(株)25

がんへ効果 研究概要発表

大阪国際がんセンター（大阪市中央区）は27日、吉本興業や松竹芸能、米朝事務所の協力を得て、笑いががんにもたらす影響を調べる実証研究の概要を発表した。外来のがん患者70人や看護師らを対象に、漫才や落語を見た後に血液検査などを行い、ストレスや免疫細胞の変化を調べる。

「わろてまえ劇場」と銘打つ舞台には、桂文珍さんをはじめ落語家や漫才師が出演。5月18日から8月24日まで8回開催し、患者は前後半4回ずつ見るグループと8回全てを見るグループに分け、舞台を見る回数により検査結果の比較・分析も行う。

この日、同センターで開かれた記者会見には、文珍さんや桂塩鯛さん、漫才コンビ「酒井くにお・とおる」の2人も登場。文珍さんは「笑いで痛みを忘れることもある。患者さんのお役に立ちたい」と話した。

同センターの左近賢人病院長は「がん患者は肉体的、精神的なストレスを強く感じている。笑いの効果が本当にあるのかを科学的に証明したい」と述べた。



の出番まではデータが良かったのに、といわれんようにしたい。29.4.28 S(株)31



◇：大阪国際がんセンター（大阪市）は27日、がん患者の免疫機能の向上に「笑い」が影響するかどうか調べる実証研究を5月から始める」と発表した。写真。

◇：松竹芸能と米朝事務所、吉本興業が協力。所属芸人が8月まで交代で患者らに落語や漫才を披露し、血液検査などでストレスや免疫細胞の変化を調べる。

◇：成果は国際学術誌に発表予定。トリを務める落語家の桂文珍さんは「自分



■ がん患者の「お笑い」効果研究 29.4.28 M(株)39
桂文珍さん、阪神・巨人ら出演

がん患者を対象にした「笑い」の効果の実証研究を来月開始する大阪国際がんセンター（大阪市中央区）は27日、院内で記者会見を開き、実験のスケジュールや出演者などの詳細を発表した。2週に1度、院内で開催する落語や漫才の舞台を患者が継続して鑑賞し、免疫機能などに与える影響を検証する。出演者の一人で落語家の桂文珍さんは「何度もライブでお楽しみいただけるのがいいと思う。患者さんに寄り添い、一生懸命やりたい」と話した。実験は全国初の取り組み。対象は患者や治療に従事する看護師らで、計8回の舞台には落語界から桂ざこばさんや桂文枝さん、漫才界からは海原はるか・かなた、オール阪神・巨人といった一流の出演者が顔をそろえる。

◎：「笑い」に よってがん患者の免疫力や生活の質が向上するのを探る実証研究が5月から始まり、協力を落語家や漫才師らにお願いしたい」と語り、笑いを誘った。29.4.28 N(株)40



◎：研究は大阪国際がんセンター（大阪市中央区）が、通院するがん患者と医療従事者約130人を対象に実施。吉本興業などの協力の下、公演を定期的に定